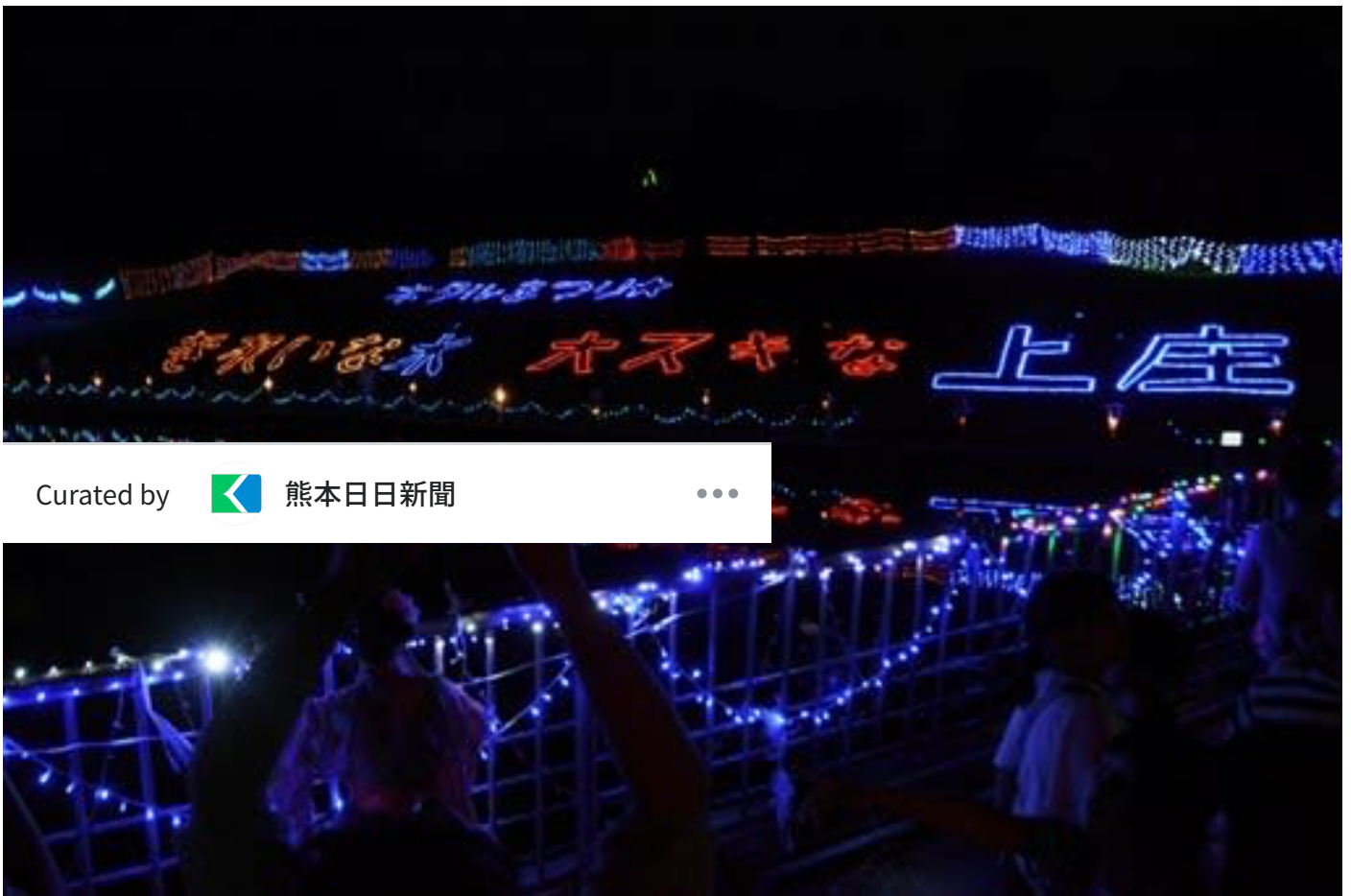


合志市でホタル祭り 電飾とホタル 幻想的に 6月1日まで

2019/5/27 11:30 (JST) | 5/28 09:50 (JST) updated

©株式会社熊本日日新聞社



Curated by  熊本日日新聞

...

竹迫城跡公園の堀の斜面にはLEDの電飾で「きれいな水 大スキな上庄」の文字が浮かび上がった＝合志市

熊本県合志市上庄の竹迫城跡公園一帯で25日夜、ホタル祭りが始まった。ホタルとイルミネーションを楽しむ恒例の催しで、家族連れなどでにぎわった。イルミネーションは午後7時半から10時まで点灯する。6月1日まで。

地元の地域づくり団体「上庄魅力化推進委員会」（青木建二会長、約50人）が2011年から毎年開いている。

同団体は自然環境保護の一環としてゲンジボタルの幼虫を飼育。毎年秋には小学生らと、地元の塩浸川と東谷川に計3千匹を放流している。

堀の斜面には、LEDの電飾で「きれいな水 大スキな上庄」の文字が浮かび上がった。川沿いの遊歩道では午後8時ごろから、無数のホタルが飛び交った。LEDのカラフルな光とホタルの淡い緑のコントラストが幻想的な雰囲気を出していた。（木村恭士）

（2019年5月27日付 熊本日日新聞朝刊掲載）